

## MAGNIAシリーズ

# HarnessEye/web における Java7 Update51 以降適用時の 例外サイト設定手順書

2014年1月にリリースされた Java Runtime Environment 7(以下、JRE7 と略す) Update 51 では、セキュリティの要件が変更となり、署名されていないアプレットはプログラム実行できなくなりました。  
HarnessEye/web では、Web 表示の一部に Java を使用しており、JRE7 Update51 がインストールされている環境では、Web 表示に影響を受けます。

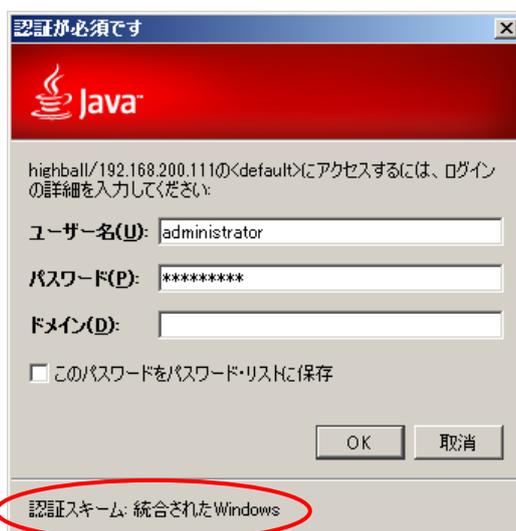
JRE7 Update51 のセキュリティ設定をデフォルトの設定のまま HarnessEye/web を実行した場合、次のような影響があります。

- ・ 「サマリー」画面にて、パフォーマンスのグラフ表示が正常にできません。
- ・ リモート KVM(\*1)画面が正常に表示できません。

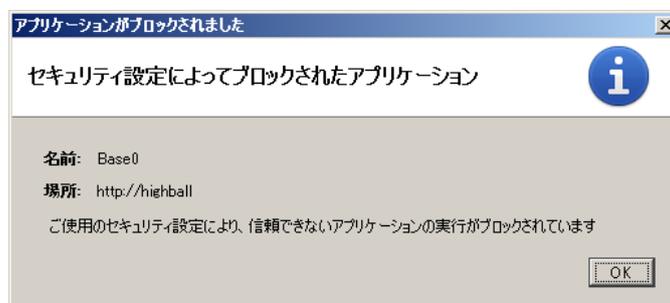
(\*1) リモート KVM 対応機種については、「HarnessEye/web ユーザーズガイド」をご覧ください。

### 例： JRE7 Update51 のデフォルト設定で「サマリー」画面を表示した場合

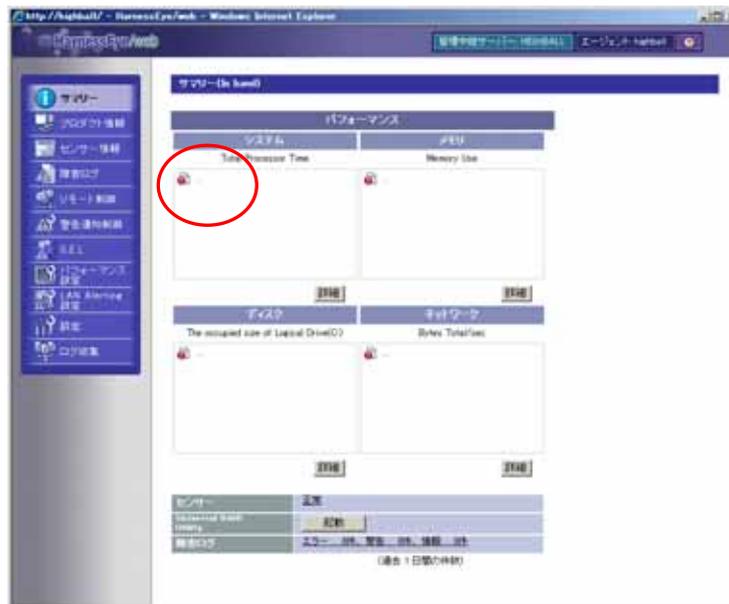
HarnessEye/web のエージェント一覧からエージェントを選択すると、以下の Java のログイン画面が表示されず。



画面下部の「認証スキーム」に表示された認証情報に従った認証方法でログインすると、以下のようなダイアログボックスが表示されます(4 回)。



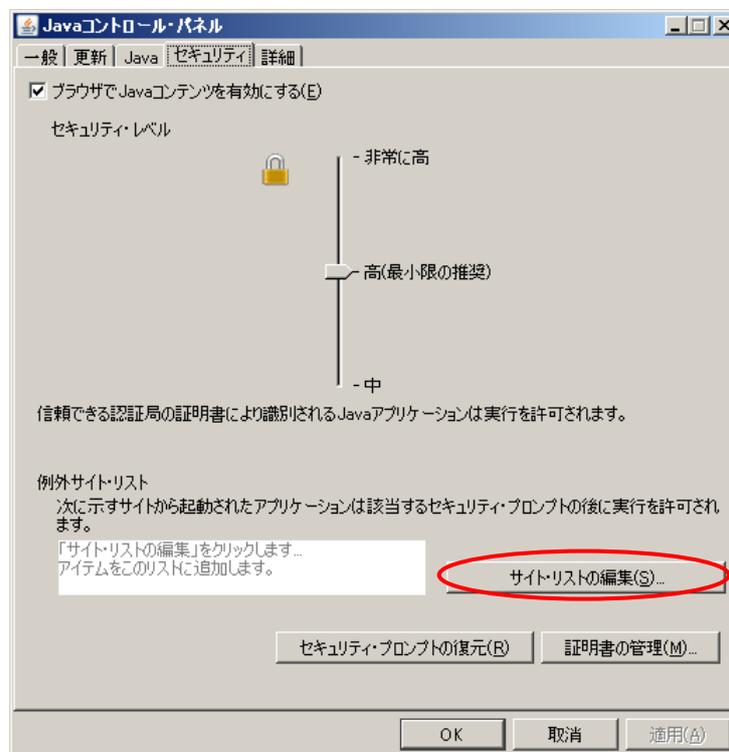
表示されたダイアログボックスの[OK]ボタンを押して続行すると、HarnessEye/web の画面が表示されますが、下記のようにパフォーマンスの画面が表示されません。



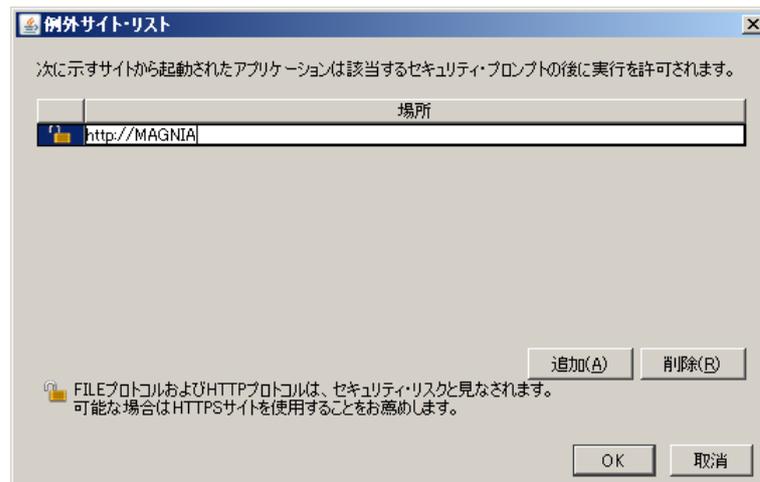
HarnessEye/web のサマリー画面およびリモート KVM 画面を正常に表示するためには、JRE7 Update51 のセキュリティ設定にて例外サイト設定を実施する必要があります。

### JRE7 Update51 で HarnessEye/web の画面を正しく表示する方法

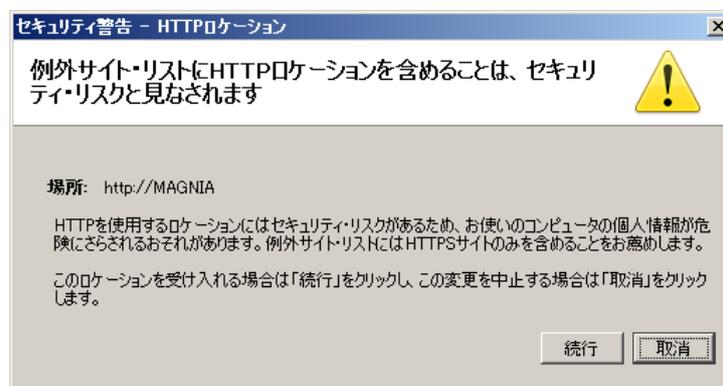
1. [Java コントロール・パネル]の[セキュリティ]タブで、[サイト・リストの編集]をクリックします。



2. [例外サイト・リスト]が開くので、HarnessEye/web の管理中継サーバーの URL を追加します。  
管理中継サーバーのコンピューター名が “MAGNIA” の場合、「http://MAGNIA」と入力してください。



3. 以下のような画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。



4. 同様に、リモート KVM を使用する場合は、管理用 LAN ポートの URL を例外サイトに登録する必要があります。管理用 LAN ポートの IP アドレスを “192.168.1.1” に設定している場合、「http://192.168.1.1」と「https://192.168.1.1」の 2 つの URL を登録してください。

以上で、Java の設定は完了です。

なお、JRE7 Update51 にてセキュリティ設定を変更した後に、HarnessEye/web の「サマリー」画面を表示しようとすると、「セキュリティ警告」画面が表示されるようになりますが、処理を続行することにより、「サマリー」画面を表示することができます。

#### 例： JRE7 Update51 のセキュリティ設定変更後に「サマリー」画面を表示した場合

HarnessEye/web のエージェント一覧からエージェントを選択すると、以下の Java のログイン画面が表示されず。



画面下部の「認証スキーム」に表示された認証情報に従った認証方法でログインすると、以下のようなダイアログボックスが表示されますので、[実行]をクリックしてください。



上記の画面で[実行]をクリックすると、HarnessEye/web のパフォーマンスグラフが正常に表示された「サマリー」画面が表示されます。

本内容は、予告なく変更する場合があります。